

重点課題は医療・雇用・防災など

市民の皆さんが市の現状に対してどのように感じ、評価しているのか。今後の市政運営の基礎資料とするため、昨年12月に市民意識調査（アンケート）を実施しました。

この調査では、さまざまな施策57項目について、「満足度」と「重要度」を5段階で評価してもらいました。また、これから市が行っていく事業などについて個別に尋ねました。

今、市民の皆さんが市政をどのように考えているのか。調査結果の一部を紹介します。

お問い合わせ 総合戦略・人口減少対策チーム ☎26-2111（内線326）



調査の概要

調査対象: 20歳以上の市民2,000人
抽出方法: 無作為抽出法
調査方法: 郵送配布、郵送回収
調査時期: 平成27年12月
有効回答: 987人(回収率49.3%)

施策の満足度と重要度の分析方法

全57施策の満足度と重要度を5段階評価で点数化して、評価しました。

①評価点の基準 5段階の回答の評価点は、回答者の割合に応じて評価指数を計算します。

算出した評価指数は、満足度と重要度それぞれに「+2.0」に近づくほど良くなり、「-2.0」に近づくほど悪くなります。

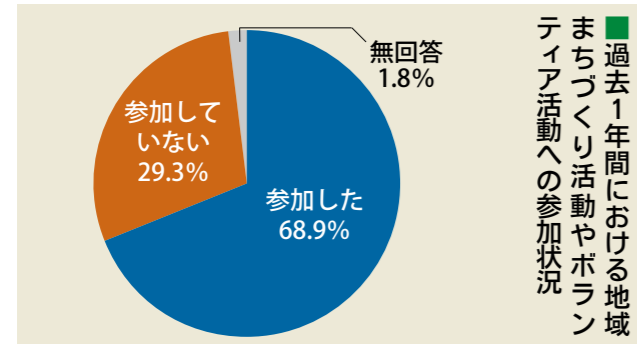
②評価の基準 満足度と重要度の分布により、各施策の評価を行います。

①評価点の基準

評価点	満足度	重要度
+2点	満足	高い
+1点	やや満足	やや高い
0点	どちらともいえない	どちらともいえない
-1点	やや不満	やや低い
-2点	不満	低い
0点	回答なし	回答なし

②評価の基準

評価	満足度指数	重要度指数	施策評価の目安
①重点課題	平均未満	平均以上	最も課題のある施策であり、重点的に推進する
②継続推進	平均以上	平均以上	継続的に市民の満足度を得られるよう施策を推進する
③課題	平均未満	平均未満	課題のある施策であり、必要度を検証し、施策を推進する
④要検討	平均以上	平均未満	一定の成果が得られており、継続の必要性を検証する

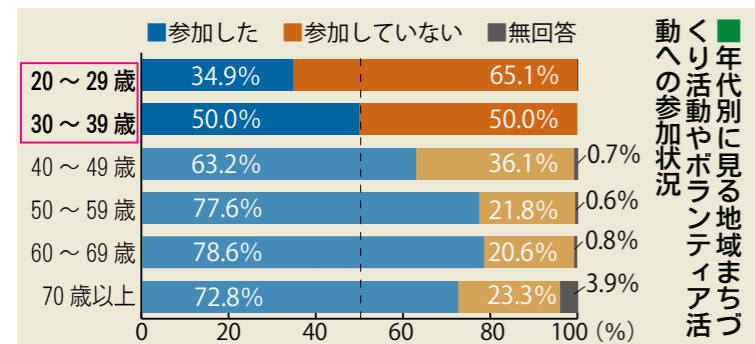


過去1年間における地域まちづくり活動やボランティア活動への参加状況

本調査では、地域まちづくり活動の指標として、さまざま

地域のまちづくり活動は若者の参加が少ない!?

結果は「参加した」が「参加していない」を大きく上回り、約7割の市民が地域まちづくり活動などに参加していました。一方で参加割合を年代別に見ると、20歳代では「参加していない」が大きく上回り、30歳代では半数が「参加していない」となっています。若者人口の減少と参加割合の低下でますます参加する若者が減り、今後の地域まちづくり活動にさまざまな影響が及ぶことが懸念されます。



重点課題は11施策
市民意識調査の結果を2ページのように分析しました。重要度が高く、満足度の低い「重点課題」に該当したのは次の11の施策です。これらの施策は満足度の向上につながるよう、今後も重点的に取り組む必要があります。

- 健康福祉分野 ①医療機関(病院・診療所) ②緊急医療体制(夜間・休日・救急)
- 生活環境分野 ③地震・災害に対する安心感 ④自然エネルギーの活用などの地球温暖化対策
- 都市・交通基盤分野 ⑤身近な市道・生活道路の整備、維持管理 ⑥幹線道路(国道・県道など)の整備
- 産業振興分野 ⑧買い物の便利さ ⑨魅力ある働く場の確保
- 教育・文化分野 該当施策無し
- 市民参画分野 ⑩健全な財政運営 ⑪行政改革の推進
- 国土・環境分野 ⑫段差や道幅などの安全性
- 観光・文化分野 ⑬観光施設や誘客PR ⑭農産物の振興対策
- 公園・緑地など憩いの場 ⑮公園・緑地などの憩いの場の確保
- 林業(里山・山林)保全と振興 ⑯林業(里山・山林)保全と振興
- バス・交通の利便性 ⑰バスの利便性
- 商店街の活性化 ⑱商店街の活性化
- 移住・定住の支援対策 ⑲移住・定住の支援対策
- 市民活動やNPOなどの活性化 ⑳市民活動やNPOなどの活性化
- 市営住宅の整備 ㉑市営住宅の整備
- 在在外国人人との交流や国際交流の推進 ㉒在在外国人人との交流や国際交流の推進

